

2006日光そばまつり



11月2日(木)から5日(日)までの4日間、「2006日光そばまつり」が日光だいや川公園で行われました。今市そばまつりとして平成14年から開催されており、今回で5回目。今年は新日光市誕生記念として、名称も「日光そばまつり」にリニューアルして開催されました。

今年からは、道路を挟んだ公園の南側(上今市駅側)を第1会場、北側(大谷川側)を第2会場と2つに広げました。第1会場には特設ステージを設け、さまざまな催しが繰り広げられました。初日のオープニングセレモニーから始まり、そば打ち体験

教室や素人そば打ち段位認定大会、幼稚園・保育園の園児たちによるマーチングバンドや太鼓の演奏、よさこいソーランや日光和楽踊りなどが連日披露され、大勢の人が詰めかけていました。

また毎年大人気の名人・高橋邦弘さんのお店「達磨」もこちらの会場に出店しました。名人のそばを食べるために、市内外からたくさんの方が来店し、開店から閉店まで毎日長蛇の列ができていました。

名人以外のそばコーナーは第2会場に設けられ、市内だけでなく全国のそば店や愛好家グループ、研究会など28店が出店



期間中そばを打ち続けた高橋名人。



まちなかお祭り広場での利き水の様子

しました。会場では、そばの食べ比べやそば打ちの実演を楽しむ人たちがあふれ、どの店にも連日行列ができていました。

第1・第2両会場の物産コーナーには、市内の業者を中心に66店が出店。地元の名産品やそば打ち道具などを販売する店が軒を連ね、それらを買いたい人たちがでぎわっていました。

まつりの来場者も年々増えており、今年は4日間で延べ12万人が訪れました。公園内の

豊かな自然の中、おいしいそばを味わい、皆さん秋の日を心ゆくまで堪能していました。

また11月3日(金・祝)には、今市地域の中心市街地へも足を運んでもらおうと、オアシス今市駐車場を会場に「まちなかお祭り広場」が開催されました。

特選素材の即売会や日光街道将軍なべの無料配布、利き水大会、ミニコンサートなどが行われ、こちらにもたくさんの方が訪れていました。



そば打ち体験教室。先生の指導で、皆さん最後まで仕上げることができました。



素人そば打ち段位認定大会。審査員の厳しい目が光ります。